

## 山行報告書

山行管理部

ターブル 龍門山 5月19日 L楠本・S L堺 参加19名  
南海難波駅 7:48 発⇒橋本駅 JR 橋本駅 8:57 発⇒粉河駅 9:25 着  
粉河駅 9:35 発⇒一本松 11:00～田代峠 12:00 着 (昼食) 12:25 発⇒山頂 13:00  
⇒一本松 14:30～粉河駅 15:50 解散

快晴の中、ハルセミの声を聞きながらの登山でした。お目当てのキイシモツケには少し早いようでしたが、山頂にはそれを目当ての登山客がたくさんいました。スイカズラ、ノイバラ、エゴノキの花などを楽しみながら、下山道では野イチゴをたくさん食べて疲れを癒すことができました。(堺 記)

公開山行 大国見山 5月26日 CL安田(さ) 参加41名(うち一般4名)  
近鉄天理駅 9:30～10:30 石上神宮 10:43～11:40 桃尾の滝 12:30～12:40 大親寺～岩屋町分岐～13:20 大国見山 13:40～14:30 岩屋町分岐～岩屋町～JR 天理駅 16:20

これまでの公開山行では行ったことのない山へのトライとしての山行でした。コースは宗教施設の町並、神社、滝、里山、旧街道町など変化に富んだ道筋でした。しかし、コースの2/3程度がアスファルト道で30℃超の最高気温の中(湿度は低目)、熱中症対策のため、水補給を頻繁に行うことになり、短時間のものも含め10回程程度の休憩を取ることになりました。山行日はT教の月例行事の日と重なり、神殿周辺やアーケード等で大混雑がありました。これを避けるため下山時、下見とは異なる市街地の外回りコースを取りましたが、その分アスファルト道歩行が長くなる行程になりました。公開山行案内で、親切にと細かな電車乗換予定をヤフー路線情報等の資料を基に掲載しましたが、私鉄の臨時列車運転もあり不正確となった結果、混乱を招いただけで掲載の必要はなかったと思われ、反省点のひとつです。

(井 記)

ターブル、土曜合同山行 道後山+比婆山、吾妻山 6月8～9日  
CL 乾 SL 児玉、堺、安田(さ) 参加21名  
6月8日(土) 大阪梅田 7:00→11:25 道後山月見ヶ丘登山口(昼食)  
登山口 12:00⇒12:40 岩桶山⇒13:20 道後山⇒13:40 大池⇒  
14:30 登山口→16:30 休暇村吾妻山ロッジ(泊)  
6月9日(日) 休暇村 8:30→8:45 比婆山古道入口  
古道入口 9:00⇒10:32 比婆山御陵⇒11:00 烏帽子山⇒11:30  
大膳原(昼食) 12:00⇒12:40 吾妻山⇒13:15 休暇村

休暇村 14:00→19:15 大阪（解散）

初日 天気が悪いので当初の予定していた道後山での昼食をバスの中に変更。各自雨の用意をして登山開始。岩桶山、道後山と順調に通過して下山。展望はなかったが初夏の花を堪能（タニウツギ、ヤブデマリ、サワフタギ。イワカガミ、アカモノ、ヤマツツジ等多くの山野草）する。

2日目は初日と打って変わり素晴らしい天気。比婆山までは急坂が続くがこのあたりはブナ、ミズナラの原生林。烏帽子山あたりから展望が開け遠くに吾妻山が望まれる。広い草原の大膳原で昼食、急坂を登り吾妻山へ。頂上は360度の大展望。2日目も大群生のタニウツギ、ヤマツツジ、キンボウゲ、マイヅルソウ、その他名前がわからない多くの花に出会へ充実した2日間の山行を終えました。参加者の皆様ご協力ありがとうございました。（乾 記）

### ファミリー・サロン合同キャンプ① 摩耶山 6月8～9日 L高桑 参加12名

天気を気にしながら朝を迎えると、一時軽い雨。明日は曇り晴の予報だ。王子公園からの登山チームは6名、車のチームも6名の構成。テント2張、大鍋、ガス、コンロ等を積み込み、食材を買い込み一路掬星台に出発する。

掬星台の建物内で早夕食の用意。鍋一杯の鶏チャンコが出来上がる。持ち寄りのご馳走と、テーブル一杯だ。久しぶりの里さん、初めての参加者と仲間の輪は格別な雰囲気。

立食パーティーは、寒さなぞ何のそのでした。

肌寒かった夜が明け、陽が差してきた良いお天気。ダイナミックなゾースイ。卵のタップリと入った食事は男の愛情の味。朝の眺望を十分に楽しみ、解散しました。（宇野 記）

### サロン&ファミリーの報告書② [ファミリー目線から]

日時 2019年6月8～9日（土日）

趣旨 六甲摩耶山掬星台でテント泊をして四方山話をする  
ツェルトでビバーク体験をする。

行動 A班：(8日)阪急王子公園駅 11時集合→摩耶山掬星台→(9日)阪急王子公園駅

B班：(8日)森ノ宮クラブ事務所 12時30分集合→神戸酒心館(福寿)→摩耶山掬星台→(9日)一軒茶屋(車移動)⇔六甲山頂→菊正宗資料館→事務所(鍋など片付け後解散)

宇野サロン部長を囲み、夜な夜なきたろうの歴史を顧み、将来を想い、噛み合わない話をしようが発端で12名が参加してテント泊などをした。又、これに合わせてビバーク訓練やテント泊初体験者が参加するなどしてこの企画を盛り上げてく

れました。概ね梅雨入りの中、1週間前より天候にヤキモキしていたが宇野部長の人徳か掬星台滞在中は雨もなく翌朝はテント干しにも恵まれた。

料理はとり鍋と持寄り一品などで盛り上がりすぎて、近隣の京大生パーティーに年甲斐もなく注意される(笑)。翌朝の雑炊では初めてのテント泊の人には目が点になるような調理に盛り上がり、でも旨かった。

初体験のYさんの感想は次いつするの?と嬉しい声を聞き、次はYさんも一肌脱いでもらおうと思う山行でした。

参加者(高桑、宇野、森下、里、森本、松本、南、木村、森野、吉田正、濱田、園)  
(高桑記)

## ウイークデイ 修法ヶ原～市章山～錨山 6月11日

L木村(佐)参加14名

阪急梅田駅3F AM8:40集合 通勤特急8:52発 三宮着9:25  
新神戸駅北公園(体操、コース説明)発9:50 → 布引滝(雌滝、雄滝) →  
市ヶ原着11:12 → 修法ヶ原着11:55(昼食、トイレ)発12:25 →  
市章山着13:35 → 錨山着13:55 → 諏訪山公園着14:45 解散

前夜降水確率50%中止の中、当日降水確率が午後の予報。迷うところでもあったが、朝の天気はまずまず14名の山行となる。午後の雨を心配して布引滝のカットも考えたが、滝を初めて見る方がおられ滝回りとする。水量も多く全く違う形の滝は見応えがあり喜んで頂けて良かった。休憩、昼食時間も早い目に切り上げ雨に備えたが市章山の頃は日陰を求める程の良い天気となり山頂で少しゆっくりする。市章山、錨山は全体の形は見えないものの、電飾の型取りの大きさを確認する。そして眼下に広がる神戸の海と街のすばらしさに、しばし見とれる。

晴男女のおかげで好天となり足並みもよく予定より早い下山となった。

(小林 記)

## 教育部 蓬莱峡(岩登り教室) 6月16日(日) L高桑 参加6名

阪急 宝塚 バス停 08:15 — 蓬莱峡 08:45

(小屏風にて、岩登り教室) 蓬莱峡 16:10 — 宝塚駅 16:50 解散

梅雨入りの日曜とあっての人出は少ないかと思いきや、豊中労山の登山学校で20名以上の団体が各岩場を占拠されていた。きたろうの初心者にはちょっと難しいところにセットして講習開始。途中、豊中の承諾をえて、やさしい岩場にセットされたロープを使わせてもらい岩に慣れた午後には大屏風へも移動していろいろな岩場の経験ができた。

最後はリクエストの懸垂下降もできるなど充実した講習ができた。

(高桑記)